

平成29年度 (1/1~12/31)  
高田運輸株式会社  
労働安全衛生・運輸安全マネジメント

平成29年1月4日制定  
高田運輸株式会社  
代表取締役社長 白岩幸一

高田運輸株式会社は、生活インフラの一端を担う一般貨物運送事業者として、事業活動全般において従業員の安全と健康を確実に保持し、輸送の安全を確保することこそが普遍的な企業経営の根幹であることを強く自覚し、本方針の確実な履行により継続的な事業活動に努め、地域社会のさらなる活性化と発展に寄与していくことを誓います。

当社における労働の安全衛生と輸送の安全に関する基本的な方針

- ① 安全はすべてに優先する最優先事項
- ② 安全マネジメント体制の確立と維持
- ③ 経営者以下全社員への安全意識徹底
- ④ 労働および交通事故・災害の撲滅
- ⑤ 恒常的な衛生管理による障害の予防
- ⑥ 安全に関する人材育成の推進

当社における安全方針の周知方法

- ① 安全方針を従業員へ配布するとともに社内に提示する
- ② 月例安全会議において安全方針を唱和する

当社における労働の安全衛生に関する目標と達成状況

平成29年度目標				
①	休業	0日		
②	不休	0日		
平成28年度達成状況		目標	結果	
①	休業	0件	0件	達成
②	不休	0件	0件	達成

当社における輸送の安全に関する目標と達成状況

平成29年度目標				
①	重大事故	0件		
②	人身事故	0件		
平成28年度達成状況		目標	結果	
①	重大事故	0件	0件	達成
②	人身事故	0件	0件	達成

当社における労働の安全衛生に関する計画

- ① 安全衛生委員会の開催と決議事項の確実な履行
- ② 定期健康診断の全運転者受診および再検診対象者への再検診受診勧告の徹底
- ③ 生活習慣の改善に供する情報の収集と食生活に関するアドバイス

当社における輸送の安全に関する計画

- ① 運行管理体制の充実と強化
- ② 月例安全会議の開催と全運転者参加
- ③ 外部研修期間への管理者および運転者の派遣

当社における安全に関する情報意見の交換方法

- ① 安全委員会および月例安全会議にて意見交換の場を設ける
- ② 帰庫した従業員にヒアリングを行い①で得られた情報を共有する

当社における労働の安全衛生に関する反省事項とその改善方法

反省 繁忙による運転者への負担を運行および作業計画により満足に吸収できなかった  
改善 現場からの的確な情報収集による弾力的な管理体制を構築する

当社における輸送の安全に関する反省事項とその改善方法

反省 定期便の増加による業務の画一化を進めた反面で漫然運転の増加が見られた  
 改善 基本操作・安全確認の徹底と事故事例の周知および対策について指導教育する

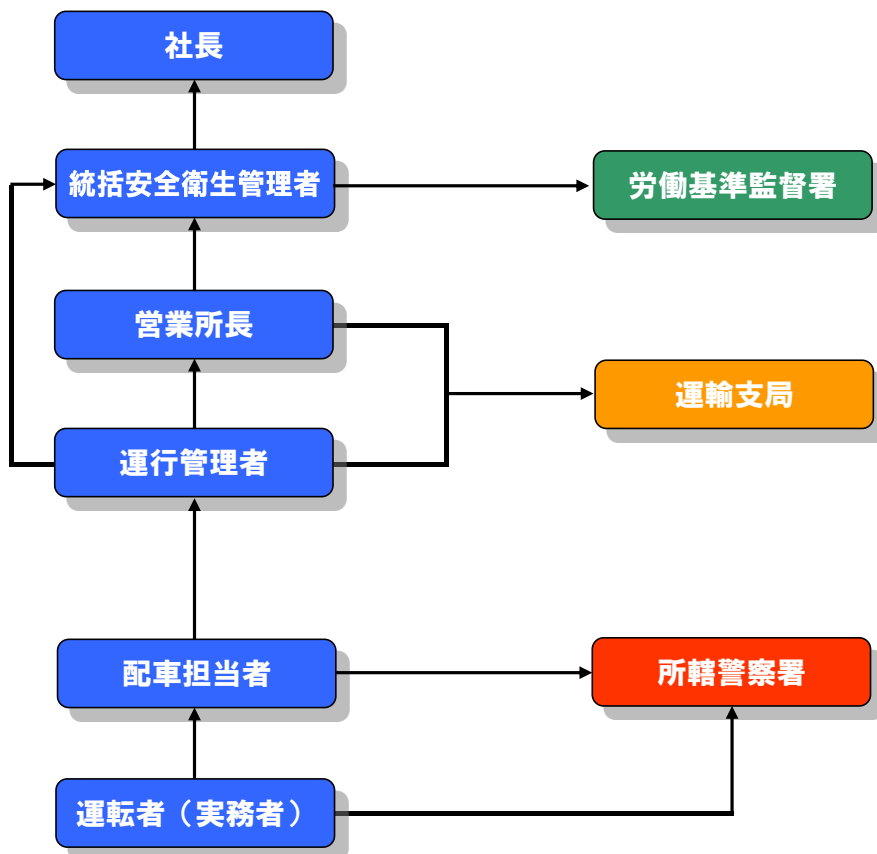
当社における重大事故に関する統計（※自動車事故報告規則第2条が規定する事故）

平成28年度 0件

当社の事故に関する情報

天候悪化（降雪）時の追突による人身死傷事故が発生（本書に添えて公表する）

重大事故や災害等に関する報告連絡体制



労働の安全衛生と輸送の安全に関する投資計画

- ① 労働の安全衛生と輸送の安全衛生の管理に必要な資格の取得
- ② 事業所の温度および湿度を快適に保つために必要な設備と措置の充実
- ③ 事業所を清潔に保ち疾病を予防するために必要な設備と措置の充実
- ④ ドライブレコーダ機器の普及と適切な管理
- ⑤ アルコールインターロック装置（車載固定型）の導入
- ⑥ テレビ電話利用の携帯型アルコール検知器の導入と活用
- ⑦ 統合運行管理システムの機能充実と効率化
- ⑧ GPS相互通信による運行車両追跡システムの効率的な運用

労働の安全衛生と輸送の安全に関する教育および研修の計画

議題	主催	開催月	議題	主催	開催月
安全衛生委員会	事業所毎	毎月	月例安全会議	全社	毎月
主要荷主安全会議	事業所毎	毎月	協力会社安全会議	事業所毎	随時
事故事例研究	全社	毎月	危険予知トレーニング	全社	随時
添乗指導	全社	随時	運転者研修	事業所毎	随時
定期健康診断	全社	年2回	運転者適性診断	事業所毎	年1回
運行管理者研修	事業所毎	年1回	整備管理者研修	事業所毎	年1回